



自分たちの手で、黄金色の恵みを収穫 ～西小学校 稲刈り～

すがすがしい秋の空が広がった10月3日。黄金色の稲穂が輝く西小学校隣の田んぼで、稲刈りが行われました。地域のボランティアにより支えられ、30年以上続いている西小学校の伝統行事です。初めての稲刈りに、悪戦苦闘する子どもたち。それでも何とか刈り取りを終えると、今度は重い稲を運び、“はざ掛け”にする作業が待ちました。額に汗を輝かせながらも、初めての体験を思う存分に楽しんでいるようでした。



1 腰を落として、稲刈りに没頭する子どもたち 2 豊作の笑りにこぼれる笑顔 3 ヨイショ、ヨイショと重い稲を運ぶ 4 昔ながらのはざ掛けに悪戦苦闘 5 収穫した米は、マラソン大会にお餅となって振る舞われる



みんなで奏でる ドラムのリズム ～ひがしなす保育園 ドラムサークル～

バラバラな音がいつの間にかリズムを刻み、緊張気味だった子どもたちの表情も、どんどん豊かになっていく。10月17日に、ひがしなす保育園で開かれたドラムサークルでの一コマです。

保育園に芸術家を派遣し、芸術に触れる機会を与えることで、豊かな感性を育もうとする今回の取り組み。講師を務めたドラムサークル研究所の三原代表は、「楽器の演奏を通じて、自発性と協調性の大切さを感じて欲しい」と話してくれました。



故郷の自然を楽しもう ～塩原小中 カヤック体験～

10月15日、塩原小中学校の8年生11人が、カヤックにチャレンジしました。この日は特別な許可をもらって、塩原ダム湖から上流の回顧の滝付近までを約2時間かけて往復。子どもたちは、途中、湖畔や川岸のゴミを回収しながら、懸命にパドルを使い船体を操作していました。みんな事前に陸上での練習はしていたものの、水上はこの日が初めて。初めのうちは怖がっていたものの、すぐに慣れて水上からの景色を楽しんでいました。

特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	163億4,918万円	150億2,935万円	13億1,983万円
後期高齢者医療特別会計	10億7,034万円	10億6,240万円	794万円
介護保険特別会計	80億5,251万円	75億 786万円	5億4,465万円
下水道事業特別会計	28億7,308万円	28億4,322万円	2,986万円
農業集落排水事業特別会計	1億1,373万円	1億 698万円	675万円
温泉事業特別会計	7,200万円	6,031万円	1,169万円
墓地事業特別会計	650万円	397万円	253万円

公営水道事業の決算状況

区分	収入	支出	差引
収益的収支(水を作って届けるための収入と支出)	28億5,573万円	24億9,796万円	3億5,777万円
資本的収支(施設の更新などのための収入と支出)	5億4,269万円	14億4,373万円	△9億 104万円

財産状況

公有財産						基金 ※特別会計を含む
土地	建物	山林など	無体財産権(商標権)	有価証券	出資による権利	
11,841,851㎡	428,533㎡	6,475,441㎡	2件	2,380万円	7億3,034万円	185億 46万円

市債・基金残高(一般会計)

※住民基本台帳人口：117,656人(平成30年3月31日現在)

市債	平成28年度末残高	平成29年度支出額	平成29年度借入額	平成29年度末残高	市民1人当たりの市債残高
	338億3,218万円	46億6,274万円	42億2,980万円	333億9,924万円	28万3,872円

基金	区分	財政調整基金	減債基金	特定目的基金	合計	市民1人当たりの基金残高
	残高	57億8,328万円	16億6,503万円	91億9,813万円	166億4,644万円	14万1,484円

市の財政状況は? ～財政の健全性に関する5つの指標～

指標	用語解説	H28	H29	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)	市の状況
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合。	-	-	11.94%	20.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
連結実質赤字比率	一般会計などに加えて特別会計や一部事務組合などの関連するすべての会計を対象とした実質赤字額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	16.94%	30.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
実質公債費比率	一般会計などが負担する公債費や公債費に準じるものなどの、標準財政規模に対する割合。	4.1%	3.8%	25.0%	35.0%	借入金の返済が一部終わったことにより、さらに向上
将来負担比率	一般会計などが将来負担する可能性のある実質的な負債額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	350.0%		将来負担は発生していないため該当なし
資金不足比率	各公営企業会計の資金不足額の、事業規模に対する割合。	-	-	20.0%		資金不足は発生していないため該当なし

平成30年度上半期 財政状況報告

■予算の執行状況(一般会計・特別会計)

※9月議会までに議決を受けたもの

会計名	歳入・歳出現計 予算額	歳入		歳出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	487億3,302万円	221億3,679万円	45.4%	185億6,793万円	38.1%	
特別 会計	国民健康保険	138億 57万円	66億2,861万円	48.0%	50億 160万円	36.2%
	後期高齢者医療	11億1,524万円	5億2,734万円	47.3%	3億8,286万円	34.3%
	介護保険	84億 559万円	41億4,349万円	49.3%	30億 591万円	35.8%
	下水道事業	32億8,989万円	11億1,325万円	33.8%	9億9,990万円	30.4%
	農業集落排水事業	1億2,154万円	5,335万円	43.9%	4,475万円	36.8%
	温泉事業	7,352万円	3,207万円	43.6%	1,659万円	22.6%
	墓地事業	457万円	453万円	99.1%	99万円	21.7%
産業団地造成事業	2億5,561万円	1,251万円	4.9%	1億9,417万円	76.0%	

公営水道事業の経理状況

区分	収入			支出		
	予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	支出率
収益的収支	28億6,811万円	13億 627万円	45.5%	25億9,247万円	6億7,548万円	26.1%
資本的収支	4億6,414万円	4,941万円	10.6%	15億6,805万円	3億6,084万円	23.0%